

1 始めに

昨日5月15日のNPO法人「平和と安全ネットワーク(JPSN)」の社員総会において法人の解散が承認され、11年の活動に終止符を打った。安全保障環境が激変する中、数多の情報を発信し、防衛・安全保障に一石を投じ、大仰な言い方ではあるが、歴史的な使命を果たしたとも言える。この間を振り返り幾つかの所見を述べたい。

2 NPO 法人の活動状況等

当法人は平成21年6月1日設立、令和2年5月15日をもって活動期間は約11年となる。当法人は一般市民に安全保障に関する正確な情報を提供し、もって安全保障に関する意識の高揚を図ることを主旨として、ウェブサイト「チャンネル Nippon」による防衛・防災等安全保障に関する情報発信を中核として活動してきた。

この期間の同サイトを通じての総配信コンテンツは約1,200件、アクセス件数は延べ130万件超であり、前記の活動目的は十分達成できているものと認識している。

<http://www.jpsn.org/>

3 小生の関わり

陸上同期のM兄に誘われて設立準備期から参加、一年以上の準備期間を経て、NPO 発足、陸海空 OB の将各1名及び民間人一名を理事に、理事長は元統幕議長、副理事長は民間から、監事は公認会計士、事務局長は同期のYとの体制であった。

理事会総会等に参加するほか、積極的に投稿した。その概要以下の通りである。

①山下塾 第一弾から第八弾

(防災と国民保護(講座数18)、現代危機管理考(講座数11)、地域の安全安心講座(講座数13)、我が国テロ対策の現状と課題(講座数10)、変わりゆく自衛隊(講座数40)、特別編(講座数12)、防災と三助(講座数14)、大災害と危機管理(講座数10)計128回

②一言言いたい 84回

③大東亜戦争メモランダム 100話

④防災危機管理ライブラリー 3回

⑤硫黄島 戦後未だ 11回

⑥その他特集記事の一部を執筆

4 所見

- (1) 事務局長の役割が極めて大であることを実感
- (2) NPO の会員募集の厳しさを認識 N理事長のネームバリューと行動力に負う処大なれど、心意気に期待するのみは斯かる NPO の宿命か？
- (3) HP の改善及び新規コンテンツの継続的アップが情報発信上重要
- (4) 執筆者の選考 思うに任せぬ。
- (5) 防衛・安全保障等に関する情報発信の場の拡充・拡大方策の検討を要す
- (6) 自衛隊 OB の若い諸氏がもっと積極的に情報発信して欲しいものだ。
- (7) 理事として、NPO に幾何かの貢献を為し得たと自負
- (8) NPO の活動を通じて、多くの民間の方の知遇を得て、参考となるどころ大であった。
- (9) NPO の組織構成を OB(陸海空)と民の混合組織としたことの利点発揮

(了)